

授業科目 NO. 618 緩和ケア論

Palliative Care

授 業 の 形 態 : 講義

単位数 (時間数) : 1 単位 (15 時間)

開講年次・学期 : 4 年次・後期

必修・選択の別 : 選択

キ ー ワ ー ド : 緩和ケアの歴史と定義、緩和ケアの対象、他職種との協働、コミュニケーション、意思決定支援

1 金沢医科大学看護学部への到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 修 目 標

1) 一般目標 (GIO)

緩和ケアの対象者とその家族に対する全人的な理解を深めると共に、緩和ケアにおける課題、協働と看護の役割、緩和ケア提供者に求められる能力を学ぶ。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部への到達目標との関連を示す。

- (1) 緩和ケアにおけるコミュニケーションで医療者に必要な能力を説明できる。(②)
- (2) 緩和ケア提供者のセルフケアの必要性を学び、自分の考えを述べることができる。(②)
- (3) 緩和ケアの歴史、定義、対象となる人々の全人的苦痛、倫理的課題について説明できる。
(②)
- (4) 緩和ケアにおける他職種との協働の必要性および看護の役割について説明できる。(②)
- (5) 発達段階や生活の場、疾患特性に応じた緩和ケアの特徴について考察し、説明できる。(②)
- (6) 緩和ケアにおける意思決定支援およびアドバンス・ケア・プランニングについて考察し、説明できる。(②)

3 学 修 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	%
実習成績	%
レポート	100%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

本科目では定期試験は実施しない。学修内容の理解と考察をレポートおよび授業参加を通して評価する。

5 教育担当者

科目責任者：北村 佳子

教 授 平松 知子（老年看護学）
 准 教 授 北村 佳子（成人看護学）
 嘱 託 講 師 直井 千津子（老年看護学）
 看 護 師 小松 さゆり（看護部）

6 教育担当者の実務経験

担当教員は看護師としての実務経験を有している。

7 教科書

なし

8 推薦参考書

適宜、授業内容に応じた書籍やホームページなどの紹介を行う。

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- 1) 授業1コマにつき、事前学修・事後学修として計180分程度必要である。
- 2) 最新の知見を学修するための情報源やアクセス方法については、授業内で適宜紹介する。
- 3) 本科目は、これまでの講義や実習で修得した知識や経験を基盤として構成している。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

課題については、講義の中で取り上げ解説を行う。

11 履修上の注意事項

- ・授業はオムニバス形式で実施する。
- ・レポートの内容および提出方法は、担当教員の指示に従うこと。
- ・緩和ケアに関する学修を主体的に進め、積極的に授業へ参加すること。
- ・レポートの提出期限は厳守すること。

12 オフィスアワー等

随時訪問可能であるが、事前に各教員の都合を確認してください。

平松 知子 : hiramatu@kanazawa-med.ac.jp

北村 佳子 : kitamu@kanazawa-med.ac.jp

直井 千津子 : c-naoi@kanazawa-med.ac.jp

第4学年

緩和ケア論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	11月02日（月）	3	講義	ガイダンス、緩和ケア提供者に求められる能力1:コミュニケーション		成人看護学	北村准教授
後	2	11月02日（月）	4	講義	緩和ケア提供者に求められる能力2:セルフケア	ディスカッション レポート課題20点	成人看護学	北村准教授
後	3	11月09日（月）	3	講義	緩和ケアの歴史と現状、緩和ケアにおける協働と看護の役割		老年看護学	平松教授
後	4	11月09日（月）	4	講義	非がん患者への緩和ケア	レポート課題20点	老年看護学	平松教授
後	5	11月13日（金）	3	講義	高齢者の緩和ケア	レポート課題20点	老年看護学	直井講師
後	6	11月13日（金）	4	講義	生活を支える緩和ケア:小児・AYA・在宅の「日常」を支える	ディスカッション レポート課題20点	成人看護学, 老年看護学, 看護部	北村准教授, 直井講師, 小松看護師
後	7	11月27日（金）	3	講義	迷いと向き合う:緩和ケアの意思決定支援		成人看護学	北村准教授
後	8(0.5)	11月27日（金）	4	講義	人生の選択をと共に考える:アドバンス・ケア・プランニング	レポート課題20点	成人看護学	北村准教授